

調整池の安定を確保し、復興まちづくりに寄与

## — EX-DJM工法 —

拡大径粉体噴射攪拌工法（φ1.3m、2軸施工）でコスト縮減



施工全景（DJM 2110型 2台 施工中）

### EX-DJM工法とは

粉体噴射攪拌工法の改良径をφ1.3m x 2軸に対応させました。  
従来のDJM工法の特長である、  
◇水を使わない深層混合処理  
◇腐植土層を確実に固化  
に加えて、  
★1日あたりの施工能率が向上することにより、他工法より低コストの深層混合処理が実現できます。

### ○施工目的

腐植土層が厚く分布している箇所に雨水調整池が作られる造成計画において、掘削部の安定や擁壁等の構造物の沈下対策として拡大径粉体噴射攪拌工法（EX-DJM工法）が採用されました。

1号雨水調整池  
施工中



### ○施工概要

項 目	仕様及び数量（予定）
1号雨水調整池 粉体噴射攪拌 φ1.3m	造成長 L=12.5～15.2m 本数 N=2,153本 総造成長 L=26,421m 設計基準強度 quck=200～400kN/m2 掘削部：貧配合による混合攪拌
2号雨水調整池 粉体噴射攪拌 φ1.3m	造成長 L=11.3～14.3m 本数 N=3,059本 総造成長 L=33,841m 設計基準強度 quck=200～400kN/m2 掘削部：貧配合による混合攪拌
改良率	86.3%（ラップ円） 78.5～90.6%（接円）
施工体制	DJM2010型 4セット

〒111-0052

東京都台東区柳橋2-19-6

TEL：03-5825-3704（事業本部 営業部）

FAX：03-5825-3756（事業本部 営業部）

URL：http://www.sanshin-corp.co.jp/

E-mail：[sales@sanshin-corp.co.jp](mailto:sales@sanshin-corp.co.jp)（事業本部 営業部）



